

## DEUTSCH-JAPANISCHES AUSTAUSHPROGRAMM FÜR JUNGE BERUFSTÄTIGE 2015



2015年8月4日～8月17日

### 概要

日本とドイツの勤労青年が、「仕事と社会的責任」のテーマの基に、企業や機関・団体等の現場における企業研修や意見交換、ホームステイ体験等を通して、両国の勤労青年の相互理解や交流の発展を図る。

2015年度は研修テーマ「若者が活躍する社会」のもと、主として①男女ともに輝く働き方（ワークライフバランス、キャリア形成）②技能の継承（マイスター制度を含む）に関して研修が実施され、日本団は団員15名及び団長、副団長を含めた計17名がドイツを訪問した。



- ① ベルリン市内での研修
- ② ラーヴェンスブリュックでの日独勤労合宿セミナー
- ③ テューリンゲン州での研修・ホームステイ



## 研修概要

<①ベルリン市内での研修> 8月5日(水)～8月6日(木)

### ベルリン日独センターにてオリエンテーション

坂戸 勝氏、ウータ・マイヤー＝グレーヴェ教授から、日独ベルリンセンターの沿革や、ドイツのワークライフバランスとそれを取り巻く社会的背景についての講演を拝聴した。

### ドイツ商工会議所及びドイツ手工業中央連盟訪問

- ・ドイツ商工会議所及びネットワークオフィスの紹介、労働力確保に向けた「仕事と家庭の両立」のための施策などのお話を伺った。
- ・ドイツにおける手工業の位置づけと手工業界の後継者確保のための戦略についてお話を伺った。PRCM は見る人を惹きつける素晴らしいものだった。

### ベルリン市内歴史研修

クリスティアン・ハーヤー氏の説明を聞きながら、ベルリン市内研修歴史研修を行った



<②ラーヴェンスブリュックでの日独勤労合宿セミナー>

8月7日(金)～8月9日(日)

### ラーヴェンスブリュック警告・追憶の場所(強制収容所跡)見学

マイヤー先生の解説のもと、強制収容所内を見学した。かつての女性用強制収容所に自分が立っているということに非常に感銘を受けた。

### 班別ディスカッション及び全体発表会

ワークライフバランスを主テーマとして、日本団とドイツ団とでディスカッションをした。短い期間ではあったが、寝食を共にすることで、相互交流が大変深まった。



<③テューリンゲン州での研修・ホームステイ> 8月10日(月)～8月16日(日)

### エアフルト市内見学

ボン大学の湯川教授にガイドしていただき、エアフルト市内の建物などについて、建築様式やその歴史背景について学んだ

### 企業研修(詳細は次頁以降)

### ワイマール市内研修

ベンヤミン君に日本語でガイドをしてもらいながら、市内の歴史についての理解を深めた。

### ホームステイ

2泊3日の短い期間ではあったが、ドイツ一般家庭の一員として過ごすという、とても貴重な経験ができた。素晴らしいおもてなしや心遣いを受け、テューリンゲン州は私たちにとって、より一層思い出深い土地となった。

